

# わが町の名人・達人・職人

## 『レモン料理』名人

### 岩城生活研究グループ

西村孝子さん・佐野チサコさん  
西本優子さん・前田ツヤコさん



▲写真左から 前田ツヤコさん、西村孝子さん、佐野チサコさん、西本優子さん

今月号は、岩城島特産のレモンにこだわった特産品づくりや体験交流などの活動をしている岩城生活研究グループ（会長・西村孝子さん）を紹介します。

— すぐに人に覚えてもらえるんですよ（お客さん）お世話になります…（西本さん）お世話します！

取材当日、今治市から20名のお客さんが、レモン懐石づくりの体験交流に訪れた際に交わされた挨拶です。思わず、只者ではないと感じました。聞くところによると、「初対面の人でも初対面じゃないように話せるんですよ。だからすぐに人に覚えてもらえるよ」と言われていました。この人懐っこい島らしいふれあいとおもてなしがお客さんにうけているんだと思いました。

岩城生活研究グループは、現在4人で活動をしています。グループの基本モットーは『元気に明るくまちおこし』で、今年「グリーンツーリズムを中心とした体験交流」「地域の農産物をPRし、地産地消及びレモン懐石を郷土料理に定着させる」などの年間活動目標を立てて、積極的に実践しています。

これまでの苦労話を聞いたところ、「そりゃあ苦労の連続やったけど、その苦労を楽しみに変えられるんですよ。私たちの活動で人に喜んでもらって、人に認めてもらえるからこそ、苦労も楽しみに変わって活動を続けていけるんですよ。私たち4人がそろったら、すごい馬力がでるんじゃないか」と力強く言われていました。そして、この人との交流により、かけがえのない人とのつながりができ、視野も広がっているいろいろなことも身につけることができたそうです。

— いずれは、レモン懐石の農家レストランを！

現在、一番力を入れている活動はレモンの魅力を最大限に活かした料理『レモン懐石』の普及です。

平成10年に全国食文化コンクールで入賞して以来、西村さんの家でレモン懐石を通じた体験交流を行っています。この体験交流は、お客さんに料理づくりや盛り付けなどを手伝ってもらい、食事してもらいながら交流を深めるもので、近年は、年間約250人以上のお客さんが訪れるそうです。食事会場では、岩城島の特産品販売も行う、島のPRにも一役かかっていました。



盛り付けをする参加者



料理指導をする佐野さん

食事を終えたお客さんからは、「手づくりでとても美味しかった」「飾りできなかった」「レモンが主役になった料理にビックリした」「家でも是非作ってみたい」などの意見があり、大好評でした。



レモン懐石



レモン懐石に舌鼓をうつ参加者

最近では、リピーターのお客さんも多く来られるそうで、西村さんは、軌道にも乗ってきたことから、いずれは、この民家のままでレモン懐石を食べられる「農家レストラン」をやってみたいと言われていました。また先日、しまなみ海道の活性化をプロデュースする「第2回しまなみコンペ」で、島の魅力を全国へ発信するホームページを開設する企画を提案し、見事最優秀賞に輝きました。今後、自分たちの活動などを発信するホームページを開設し、ますます活動の幅を広げていくそうです。最後に上島町の方へのメッセージをお聞きしました。

「レモンの島で、レモンに触れて、レモン懐石を食べるに是非遊びに来てください！」

このコーナーでは、町のいろいろな人の情報をお待ちしています。

■上島町企画情報課

TEL 0897-771-2500